

できる準備

「非常持ち出し品」と「備蓄品」を用意してください

避難するときには持ち出す「非常持ち出し品」と、自宅で生活するための「備蓄品」を分けてそろえてください。非常持ち出し品は重くなりすぎて避難に支障が生じることのないよう注意して

ください。

また、備蓄品の飲料水や食料は、一週間分を目安に、備蓄してください。普段から使う食料品やミネラルウォーターを、必要な数より余分に購入して、消費した分を随時補充することで、賞味期限切れによる無駄が少なくなりま

できる準備

災害時に家族等の安否を把握する方法を確認してください

災害時には、電話はつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」を、いざというときに使えるようにしておいてください。

○ 災害用伝言ダイヤル17171

被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に開始される伝言サービスです。使い方は、左記のとおりです。

Checkリスト

● 非常持ち出し品の例

- 飲料水
- 衣類
- 食料品(ビスケット、チョコレートなど)
- 下着
- 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
- タオル
- 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- 携帯ラジオ、電池
- ヘルメット、防災ずきん
- 使い捨てカイロ
- 懐中電灯、電池
- ウェットティッシュ
- めがね、コンタクト用品
- 洗面用具
-
- 軍手
-
- 携帯電話の充電器

※乳児のいる家庭はミルクや紙おむつ、ほ乳びんなども用意してください。
※疾患のある方は、持病の薬も用意してください。

● 備蓄品の例

- 飲料水(1人1日3リットル)
- 食料品(アルファ米、ビスケット、板チョコ、乾パンなど)
- 下着、衣類
- トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど
- マッチ、ろうそく
- カセットこんろ
- 簡易トイレ

※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をはっておくなどの備えをしておきましょう。

特集

○ 災害用伝言板

携帯電話などを使用して、インターネットにより安否情報を伝えるものです。携帯電話会社の異なる人どうしの情報も把握することができます。

伝言の録音方法

- ① **171 にダイヤルする**
▼ガイダンスが流れます
- ② **録音する場合は1** 暗証番号を利用する録音は「3」
▼ガイダンスが流れます
- ③ (●●●●)●●●●・●●●●
伝えたい相手の電話番号を市街局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

- ① **171 にダイヤルする**
▼ガイダンスが流れます
- ② **再生する場合は2** 暗証番号を利用する再生は「4」
▼ガイダンスが流れます
- ③ (●●●●)●●●●・●●●●
相手の電話番号を市街局番からダイヤルしてください。

できる準備

自主防災会の活動に参加してください

自主防災会は、災害時に地域住民が互いに助け合うための組織です。

本町には、各小学校区と一部の地区に自主防災会があります。回覧板などで活動のお知らせがあった場合は、積極的に参加して、お互いに顔の見える関係になってください。

できる準備を今すぐに

災害はいつ起こるかわかりません。事前にできることから日々積み上げて、災害時には少しでも危険要因を減らしておくことが大切です。普段できていないことを災害時に行うことはできません。できる準備は今すぐに行ってください。

防災メールに登録を

本町では、避難所に関する情報などをメール配信しています。登録料は無料です。下のQRコードを読み取るか、メールアドレスに空メールを送信して、登録手続きをしてください。



▶ メールアドレス
t-toyoyama@sg-m.jp
(QRコード)

▼問合せ
60003
総務課総務・防災係 ☎28